

4コマ まんが よっ! 秩父市宣伝部長 ポテくまくん



フードばっか(笑) それは他所の映画館でも共通ですよー

夢をかなえる 未来にはばたく 秩父地域の高校

(秩父農工科学高等学校)

秩農工祭

11月5日(土)、秩農工祭を全日制、定時制、専攻科と同時開催しました。昨年は校内公開のみの形式でしたが、今年は限定公開で実施しました。公開開始とともに、コロナ禍前の雰囲気少々感じながらの各団体発表となり、生徒はとても忙しく活動していました。これまでの準備や来場者への対応等、貴重な経験ができたと思います。なお、専攻科は今回で最後の発表となりましたが、日頃の研究成果を示すことができました。



本校の文化祭は、埼玉県内はもとより県外からの来校客が毎年あり、多数の方より入場に関する問い合わせがありました。一般公開中止の案内をすると、とても残念がっていました。来年は一般公開ができるように感染状況が落ち着いてくれることを祈っています。

地域おしり協隊

暮らす、秩父 <秩父市移住相談センター> 宮側町1-7 地場産センター5階 ☎26-7946 松田・末村・西村・松本

●9月23日【マイナビ転職フェア 東京】に出展してきました!

日本最大級の転職フェアとも呼ばれ、多くの転職希望者が来場していました。フェアには大手企業がずらりと並ぶ中、ひときわ目立っていたのが「秩父地域 移住・しごと相談コーナー」でした。当日は約70組以上の方が秩父の話を聞こうとブースに足を運んでいました。秩父地域はテレビなど多くのメディアに取り上げられ、都心から電車で約77分で来られる距離にあるため、移住場所として検討いただく方がとても増えており、ブースには絶えず秩父の話を聞こうと列を作るほどでした。



●9月25日【ふるさと回帰フェア2022】に出展してきました!

フェア来場者数は昨年の8,000人を上回る18,000人を記録しました。秩父市ブースは常に席が埋まり、ブースだけでは足りずスタッフ全員でフリースペースも利用し対応するほどの大盛況でした。多くの方に興味を持っていただいた中で、「話を聞いて秩父市への移住って現実的かも?」「今の仕事を変えずに、秩父へ移住できるかも?」などの声を多く聞くことができ、都心への利便性や暮らしやすさなどのPR成果を感じました。昨今の働き方改革、コロナによる急速なデジタル化、オンライン化でテレワークの普及も移住を後押しする大きな要因となっています。

